



きずな

全日本少年サッカー大会札幌ブロック予選代表決定戦 コンサドーレ札幌A・SSS・上江別Jr・コンサドーレ札幌Bが 札幌代表！

Aブロック決勝
コンサドーレ札幌A VS L-WAVE

結果	4	-	0
前半	2	-	0
後半	2	-	0

・コンサドーレグラウンドで試合開始されたAブロック決勝
試合開始早々にコンサドーレが右サイドのクロス
8番がトラップしてシュートするが惜しくも外れる。
前半2分と同じく右サイドからクロスが8番が右足を振り
ぬきゴールを決める。

L-WAVEもサイドやカウンターで追いつこうとするがなか
なかシュートまではいかない。

前半14分にL-WAVE最大のチャンスが訪れる。キーパー
との1対1の場面もキーパーに防がれノーゴール
均衡を破ったのは、前半16分コンサドーレAが左から
クロスを上げてDFにクリアされるが9番が拾いそのま
まシュートをしてゴールを決める。

2-0で前半を終えた。



後半になるとコンサドーレAがさらにボールを動かして
支配率を高める。L-WAVEもボールを支配されるが

攻守の切り替えを早くしゴールへは結びつけさせない。
後半11分コンサドーレAがフリーキックを得る。

11番がペナルティーエリア中央へ蹴りこみ、9番の頭
に合わせてヘディングシュートからのゴール。

13分にも手を緩めずシュートを打ち、キーパーに阻
まれるもこぼれたまを35番が詰めてゴール。

そして、4-0で試合終了となった。

コンサドーレAが終始ボールを支配して、サイド
ジヤサイド攻撃を意識してクロスの数が多かった。
一方のL-WAVEも攻守の切り替えを早くしてカウン
ターなど生かそうとするが上手く得点へは結び付か
なかった。正確にシュートを放ちゴールを奪って
いったコンサドーレAの勝利で幕を閉じた。



Bブロック決勝

SSS VS クラブフィールズ

結果	2	-	0
前半	0	-	0
後半	2	-	0



Bブロック決勝はSSS対クラブフィールズの試合。前半1分にSSSの28番がロングシュートをするが惜しくも外れる。フィールズはボールをコート全体へ大きく動かしていくサッカーを展開させる。前半3分にもSSSがサイドのクロスからシュートをするも、7番のシュートがバーを越してゴールならず。12分にもキーパーからのパントキックが前線の23番へ。落とした所に26番がシュートするもこれもバーの上に外れる。フィールズも先制をして主導権を握ろうと前半終了間際に20番と23番がペナルティエリア付近のワンツースでシュートを打つがこれはゴール右へと外れ、前半はスコアレス。後半、最初にチャンスを作ったのはフィールズ。28番のロングシュートを打ちバーを越す。そして4分、23番がサイドを切り崩しシュートを打つが左ポストに当たりゴールならず。均衡が破れたのは6分。SSS7番が相手陣地中央でボールを受け11番へ絶妙なスルーパス。11番がそのままゴール。このゴールでSSSがリズムをつかむ。後半14分には、サイドから中央にいる9番へスルーパス。キーパーとの1対1になるがゴール右に外す。一方のフィールズは、後半15分、後方からのロングパスを26番が受けて、キーパーとの1対1になるがSSSキーパーの好セーブに阻まれゴールならず。1分後の16分、SSSは7番のサイドからセンタリングに9番が鮮やかなボレーでゴールを割り2-0になる。このまま試合終了。2-0でSSSが全道大会へ駒を進めた。フィールズはゴール付近の1対1に負けず、ギリギリのところまでよく踏ん張っていたが、個の技術を生かして攻め続けたSSSの勝利となった。

Cブロック決勝

上江別Jr VS アンフィニMAKI

結果	1	-	0
前半	0	-	0
後半	0	-	0
延長前半	1	-	0
延長後半	0	-	0



Cブロック決勝 上江別Jr対アンフィニMAKIの試合。最初にシュートを打ったのは上江別で前半2分に14番のシュートがクロスバーに当り惜しくも外れる。アンフィニも巧みにボールを動かす。前半3分には右サイドからクロスを上げるがキーパーキャッチ。前半9分にはワンツースから裏へ飛び出しキーパーと1対1になるが決めきれずキーパーに防がれる。15分、アンフィニのコーナーキックのチャンス。しかし、そのコーナーを上江別のクリアでカウンター。左サイドからのクロスに14番がシュートを打つもDFがクリア。そこに10番がこぼれ球を拾いシュートをするもはずれ、前半は、このまま終了。後半になると一進一退の試合展開で、どちらもなかなかシュートが打てなくなる。アンフィニは、上江別のコントロールされたDFラインに苦戦を強いられて、なかなか攻撃のリズムを作り出せない。上江別は、巧みなオフサイドトラップとサイド攻撃に重点を置き、徐々に仕掛けてペースを掴もうとするが、後半が終了する。今大会初めての延長戦が始まった。延長前半2分にこの試合初めてのゴールが生まれる。上江別が左サイドを崩しセンタリング。14番がシュートを打ちゴール。ここからアンフィニの怒涛の攻撃が繰り返される。何度もゴール付近まではいくものの上江別の堅いDFがクリア。アンフィニは延長の前後半合わせて7本ものコーナーキックを得るがものにできず、ここで試合終了。粘り強い守備でワンチャンスをものにした上江別Jrが1対0でアンフィニを破り、全道大会へ進出を決めた。

Dブロック決勝

コンサドーレB VS AGGRE

結果	2	-	1
前半	1	-	0
後半	1	-	1



Dブロック決勝

コンサドーレB対AGGREの試合が行われた。

開始早々コンサドーレBが自陣でファールをしFK。AGGREは直接ゴールを狙うがDFに当りクリアされる。AGGREはたて続きチャンスを得る。8番がサイドから中央ヘドリブルで切り込みシュートも、キーパー正面。コンサドーレBも負けじと攻め上がり、前半10分には、15番がサイドから中央ヘドリブルで侵入し、17番へパス。フリーで受けた17番がシュートを打つもGKの好セーブにあい、ゴール決まらず。

コンサドーレBもAGGREも、互いに着実にボールをキープしながらシュートまで持っていく場面があった。均衡が破れたのは前半19分。コンサドーレBの15番がドリブルでペナルティエリアへ。AGGREのDFは一度は止めたものの、DF同士が交錯し、ボールは再び15番の足元へ。これを冷静にゴールへ流し込みコンサドーレが先制し、前半が終了した。

後半最初のシュートはAGGRE。サイドで受けた9番が中央の8番にパス。8番のシュートは惜しくもゴール右に外れる。4分にはDFのボール回しをインターセプト。そのままシュートを放つもGKに防がれる。一方のコンサドーレBは後半9分。DFから前線へのロングパス。裏へ抜け出した25番が2タッチでシュート。これが決まり追加点で2-0とした。

反撃したいAGGREは9番にボールを集める。16分には、サイドからのループパスを胸トラップしてボレーシュート。素晴らしいプレーであったが、これはコンサドーレのキーパーが弾く。その後もAGGREが押し込む場面もあったが、コンサドーレBのDFが固く、そのまま試合は終了。どちらも攻守の切り替えが早く、着実にボールを運んでいた。イーージーな形でボールを失うシーンが少なく、レベルの高い試合が繰り広げられた。